

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却の方法は定額法によっております。
- (2) 引当金の計上基準
貸倒引当金・債権の貸し倒れによる損失に備える為、個別に回収可能性を検討し回収不能見込み額を計上しております。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっております。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
W C F 東京大会積立資産	0	6,000,000	0	6,000,000
什器備品	1,559,543	0	1,179,153	380,390
合 計	1,559,543	6,000,000	1,179,153	6,380,390

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
W C F 東京大会積立資産	6,000,000	(6,000,000)	—	—
什器備品	380,390	(380,390)	—	—
小 計	6,380,390	(6,380,390)	—	—
合 計	6,380,390	(6,380,390)	—	—

4. 担保に供している資産

該当事項はありません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	8,059,664	7,679,274	380,390
合 計	8,059,664	7,679,274	380,390